

(広報資料)



令和2年7月15日

京都市産業観光局
〔農林振興室〕
農林企画課 Tel.222-3351

京都市総合企画局
〔総合政策室〕
SDGs・市民協働推進担当 Tel.222-3178



(株)セブン-イレブン・ジャパンと京都市との連携による、 新型コロナの影響を受けた農家支援（販路拡大）の取組について

京都市では、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、生産者が安定的に農産物を出荷し、持続的に営農を行える環境を整備する取組の一環として、(株)セブン-イレブン・ジャパンと連携することにより、セブン-イレブンの市内店舗で地元の生鮮野菜の販売が開始されることになりました。

本取組は、京都市と(株)セブン-イレブン・ジャパンとの「地方創生包括連携協定」に基づくもので、農家の新たな販路の開拓につながるるとともに、市民が身近な地域で地元の生鮮野菜を手軽に購入できる“地産地消”の推進にも資するものと考えています。

つきましては、7月15日から、山科区の5店舗で販売を開始しますので、お知らせします。

(今後も、順次、販売店舗、参加農家を増やしていく方向で展開していきます。)

記

1 販売開始 令和2年7月15日(水)～



2 内 容

生鮮野菜の取扱店舗においては、新たに「地域の野菜コーナー」を設置し、野菜(トマト、なす、きゅうり、かぼちゃ等)を個別包装して販売する予定です。

3 販売店舗

- ① 京都山科今屋敷町店 (住所: 山科区西野今屋敷町6-6)
- ② 山科東野門口町店 (住所: 山科区東野門口町2-7)
- ③ 山科柳辻東浦町店 (住所: 山科区柳辻東浦町4-1-2)
- ④ 京都山科柳辻店 (住所: 山科区柳辻草海道町4-4-2)
- ⑤ 山科外環小野店 (住所: 山科区小野鐘付田町5-3)



4 参加農家

- ・西岡農園 (山科区西野)
- ・杉野農園 (山科区勸修寺)



(参考)

地方創生包括連携協定

京都市と(株)セブン-イレブン・ジャパンは、緊密な相互連携と協働による活動を推進することにより、京都市のより一層の地域活性化及び市民サービスの向上を図るため、平成30年3月15日に協定を締結したものの。



地元農家が丹精込めてつくった新鮮な野菜を是非お買い求めください。

生産者が見えることで、少しでも安心して食べていただきたいと思います。

山科の新鮮な野菜をぜひ味わいに、取り揃えてお待ちしております。

地域の為に手伝い出来て嬉しいです。山科から京都を盛り上げましょう!

SDGsに資する地産地消の新たな協働の取組がスタート!

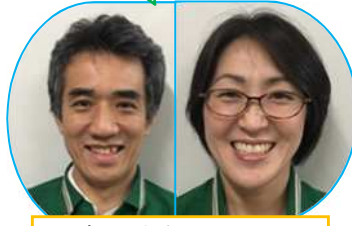
取組が広がって、多くの方に地元の新鮮な野菜を味わってほしいです。



杉本 知隆
(京都市農林振興室 農林企画課)



西岡農園
(山科区西野 農家)



川島 由久, はるみ
(京都山科今屋敷町 店 オーナーご夫妻)



濱崎 光男
(京都山科柳辻 店 オーナー)



佐々木 仁哉
(京都市農林振興室 東部農業振興センター)



福田 達也
(京都市総合政策室 SDGs・市民協働推進担当)



廣田 隆司
(山科東野門口町 店, 山科柳辻東浦町 店 オーナー)



田村 清一
(セブン-イレブン・ジャパン 執行役員 兵庫・京滋・奈良ゾーンマネジャー)



門川 大作
(京都市長)



杉野農園
(山科区勸修寺 農家)



磯山 康司, 美樹
(山科外環小野店 オーナーご夫妻)

地域で農家さんと一緒に新鮮で美味しい野菜をお届けします。

ウィズコロナ社会、新たな生活スタイルとして身近な地域で美味しい京野菜をご堪能ください。

有機肥料を中心に農薬を減らし、安全安心で新鮮な野菜をお届けします。

今回、山科の美味しい野菜を取り扱い出来て非常に嬉しく思います。

市にご尽力いただき、農家様と加盟店の連携が図れ感謝しております。

多様な市民, 企業, 行政が手を取り合い, 助け合っ て, コロナの危機を乗り越えていきます!